

議員
土日の運行については業者と

企画部長
多くの方から、「ふれあい号を利用してよかった」という回答をいただいている。土日祝日等の運行拡大を希望する意見もあったが、委託事業者との意見交換会では、運行時間が拡大されると事業者として厳しく、賛成しかねるとの意向が示された。

議員
政府は、デマンド交通を700市町村に拡大させる方針である。3月に行ったデマンドタクシー利用者のアンケート結果をお知らせいただきたい。



ふれあい号、土日の運行は？

公共交通（乗合型）について問う 倉持 守議員



予約型乗合交通「ふれあい号」

議員
民業圧迫に関しては、事業者が利益を得るような土日の運行契約も考えたかどうか。民間と協議し、利用者を拡大する方針でやっていただきたい。

市長
常総広域の中で各市町村の利便性を図れるよう、実現に向けて努力したい。土曜日の利用も民業圧迫にならないよう考えていきたい。

議員
ごみ回収の保存版のような格好の周知方法を要望する。次に、公共交通の広域連携について市長の考えを伺いたい。

企画部長
市民へのPRを兼ねて、アンケートなど意見や要望を聴取する方法を考えていきたい。

議員
利用していない方に周知徹底していただきたい。周知策は。

企画課長
新しい予約システムを活用することで、効率的な運行ができるのではないかと思う。

の協議が必要だと思う。配車に関して車の台数が足りないなら配車をしている社会福祉協議会にうまく効率よく配車してもらえればと思うがどうか。

市民生活部長
一般家庭からの雑排水が流入する排水路については、天候や水量によって数値に違いが出ることもある。生活環境課としては、家庭の雑排水ではなく、事

議員
同じところから採水して、数値が20倍も違う時がある。何のために採水しているのかということである。数値を見逃して放置するということは決してあってはならない。どういう行政指導をしているのか。

市民生活部長
事業所排水の水質検査で基準値を超えた場合、改善計画書の提出を求め、早期の対策を促している。また、事業所と市で公害防止協定の締結を推進し、公害防止に役立てている。悪臭については、通報等があった場合、現場確認をし、清掃消毒等悪臭を抑える指導をしている。

議員
企業・家庭雑排水・悪臭・騒音等に対しての行政指導やその効果等を伺う。



水は地球上すべての生物の源

当市の環境対策推進について 遠藤 正信議員

業所採水を重点的に行っている。排水路については、今後、下水道の加入が進めば、水質が改善すると思われる。

議員
せっかく採水をして経過を見ているわけだから、国や県と連携を取りながら、市民が安心して生活できるよう効果を出してもらいたい。いったん汚れたものは1、2年では変わらない。企業排水について、大腸菌群数が基準値の600倍からゼロに改善した企業があるが。

生活環境課長
事業所から改善計画書が出され、塩素滅菌を自動でできる設備を設置したことにより、効果があらわれたと考えている。

